

**東京都 特定緊急輸送道路沿道建築物  
 耐震診断義務化スタート**

昨年施行された「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を推進する条例」に基づき、耐震診断を行っていない特定沿道建築物に対して、本年4月1日より耐震診断の実施の義務化が始まりました。この条例や耐震診断等に関しては、昨年度、財団法人東京都防災建築・まちづくりセンターに相談窓口が設置され、診断の実施にあたっては東京都と協定を締結した3団体（TAAF、JSCA、JASO）が中心となり、アドバイザー派遣や診断に応じています。センター依頼のアドバイザー派遣は昨年度500件近い要請があり、そのうちJASOでは99件に応じています。耐震診断に対する見積り依頼も増加しており今年度はなおいっそうのJASOの活躍が期待されています。



目次：

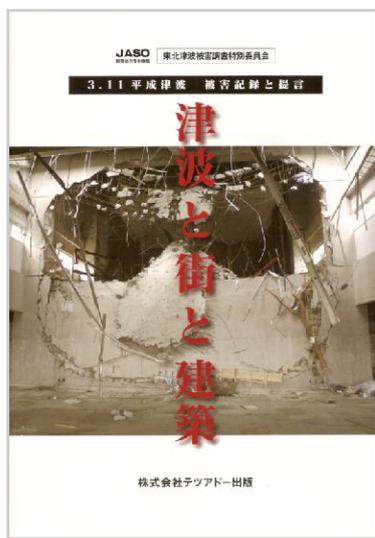
東京都 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断義務化スタート	1
JASO新刊紹介	
耐震化支援事業2011年度実績	2
セミナー報告	4
JASO推奨品制度スタート	5
会員事務所ご訪～問！	6
HS会員ご訪～問！	7
お知らせ&スケジュール	8

**JASO  
 新刊紹介**

**津波と街と建築  
 3.11 平成津波 被害記録と提言**

東北地方太平洋沖地震発生後、JASOでは5月から11月に5回にわたり、延べ75人の調査団を派遣してきました。9月には住宅系建物や設備の被害についてとりまとめた2冊の本を出版しています。

第3編となる今回は、東北津波被害調査特別委員会（安達和男委員長、他執筆者29名）による、非住居系の建築物、土木構造物の被害についての報告です。被害を地域としてとらえ、さまざまに検証し、津波そのものへの考察と今後の減災への提言も行っています。



発行：(株)テツアード出版  
 著者：JASO耐震総合安全機構  
 東北津波被害調査特別委員会  
 発行日：2012年2月9日  
 定価：3,885円

**JASOトピックス**

- 2/9 「津波と街と建築」発刊
- 2/20 練馬区マンション耐震セミナー
- 3/2～4 ハウジング&リフォームあいち2012 (JASO東海支部参加)
- 3/8 JASOアドバイザーのための耐震補強工法セミナー
- 4/26 マンション耐震補強現場見学会
- 4/20・27 JASO新入会員懇談会
- 5/2～3 東日本大震災第7次調査
- 5/12 杉並区マンション耐震改修セミナー
- 5/16 H・S会技術発表会
- 6/8 JASO定期総会

# JASO耐震化支援事業等 2011年度の実績

2011年度のJASOの行政に対する耐震化支援事業は、昨年と同様、東京都の8区が対象でしたが、3月11日の東北地方太平洋沖地震の影響で、それまでの累計に匹敵するほどの業務件数を1年でこなしました。また、東京都の「東京における緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進する条例」に基づき、協力団体が交わした「緊急輸送道路沿道建築物の耐震化支援業務に関する協定書」によるアドバイザー派遣業務（財団法人東京防災・建築まちづくりセンターからの派遣）も加わりました。その結果、昨年度のアドバイザー派遣業務は、589件（99件の無料相談とそのアドバイザー派遣を含む）、簡易診断は184件となりました。

## ①東京都杉並区（2006年より受託）

- 支援対象：昭和56年以前に建てられた木造以外の建築物
- 累計：アドバイザー派遣申込428件、簡易診断145件
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣180件、簡易診断49件

## ②東京都北区（2007年より受託）

- 支援対象：昭和56年以前に建てられた分譲マンション
- 累計：アドバイザー派遣申込20件、簡易診断19件
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣9件、簡易診断0件

## ③東京都練馬区（2008年より受託）

- 支援対象：昭和56年5月以前に建てられた分譲マンション
- 累計：アドバイザー派遣申込82件、簡易診断39件
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣25件、簡易診断7件

## ④東京都新宿区（2009年より受託）

- 支援対象：昭和56年5月以前に建てられた耐火建築物
- 累計：アドバイザー派遣申込315件、簡易診断187件
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣164件、簡易診断119件

## ⑤東京都港区（2009年より受託）

- 支援対象：昭和56年5月以前に建てられた非木造の住宅、共同住宅、診療所、店舗等
- 累計：アドバイザー派遣申込37件、簡易診断19件
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣20件、簡易診断9件

## ⑥東京都墨田区（2009年より受託）

- 支援対象：昭和56年5月以前に建てられた建築物（工業化認定住宅、補強コンクリートブロック造を除く）
- 累計：アドバイザー派遣申込18件 ※簡易診断制度なし
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣14件

## ⑦東京都渋谷区（2010年より受託）

- 支援対象：昭和56年5月以前に建てられた建築物
- 累計：アドバイザー派遣申込3件 ※簡易診断制度なし
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣0件

## ⑧東京都世田谷区（2010年より受託）

- 支援対象：昭和56年5月以前に建てられた建築物（木造以外・共同住宅 面積要件等あり）
- 累計：アドバイザー派遣申込8件 ※簡易診断制度なし
- 2011年度の実績：アドバイザー派遣7件

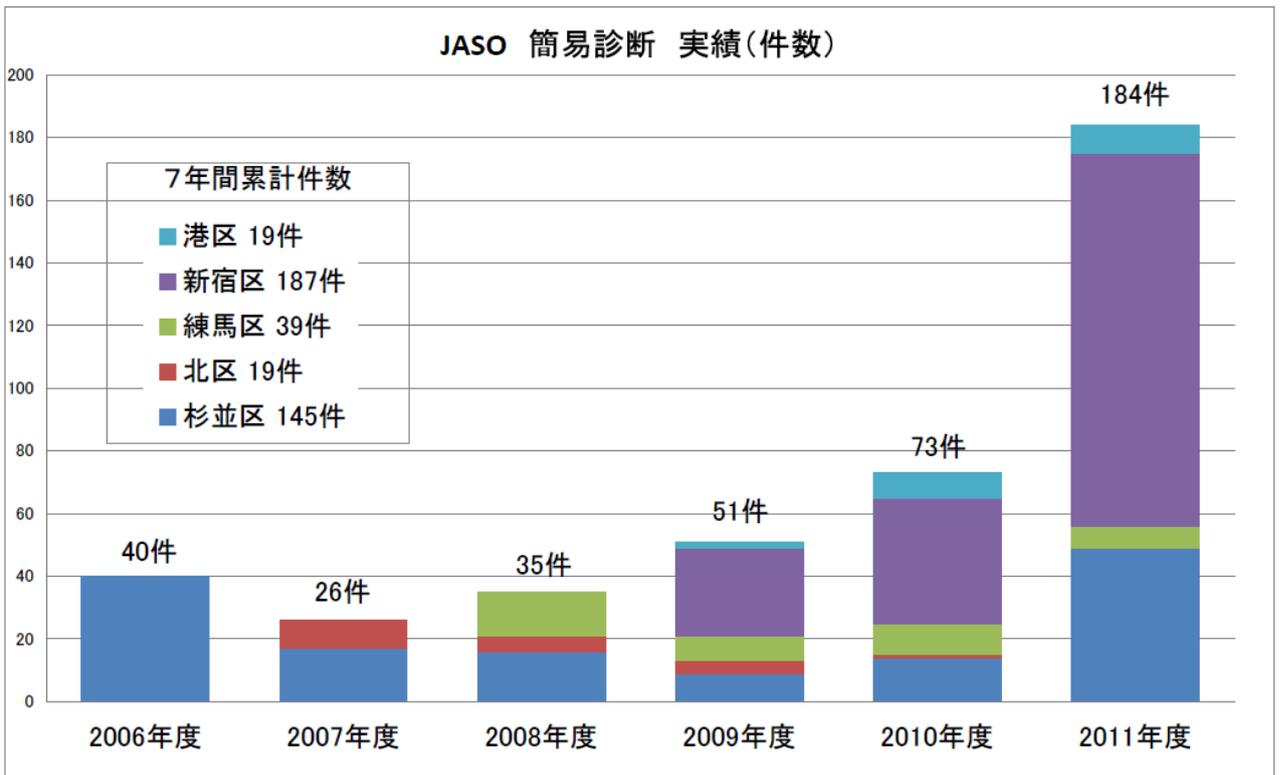
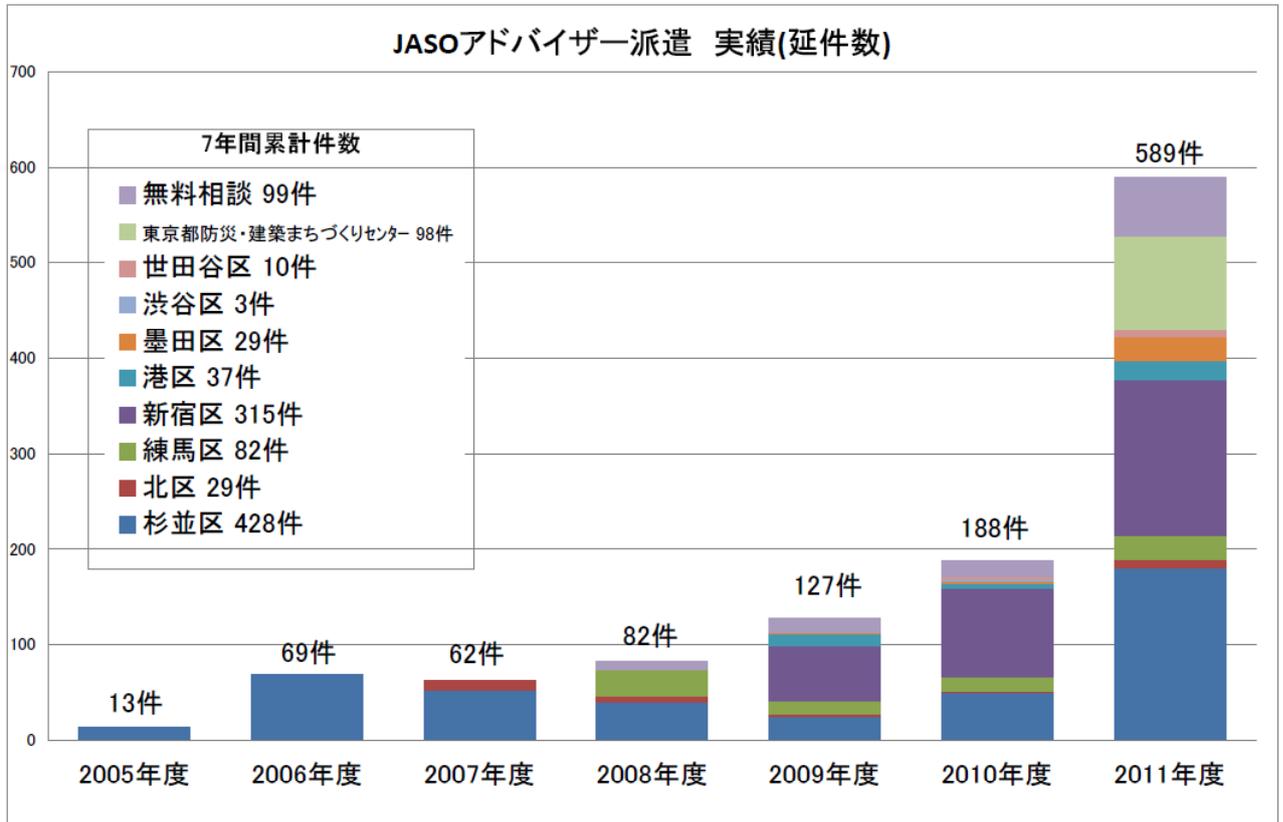
## ⑨無料相談（2008年より）

- 行政の耐震化支援制度（アドバイザー派遣等）の適用外の建物や新耐震基準の建物からの相談など。
- 累計：99件 2011年度実績：61件

⑩財団法人東京防災・建築まちづくりセンターからの派遣業務依頼（2011年より）

■昭和56年以前に建てられた特定緊急輸送道路沿道沿い建物

2011年度実績：99件



## ハウジング&リフォームあいち2012

2012年3月2～4日 会場：吹上ホール（愛知県名古屋市）

3月2～4日、名古屋市の吹上ホールにて、ハウジング&リフォームあいち2012（主催：愛知ゆとりある住まい推進協議会 他）が開かれました。JASO東海支部（支部長 野田泰正）は、一般社団法人マンション維持管理機構（名古屋市）\*1と協力し、マンションの管理組合の耐震相談などに応じました。また、「マンション管理学校」と題したミニセミナーでは、安藤誠副支部長が「失敗しないためのマンション地震対策」の講演を行いました。その他会場では、地震を感知して建物を浮き上がらせる装置の展示（日本AIR断震システム(株)）や、バーチャル地震体験装置の実演（名古屋大学）などの展示も行われました。

来場者が3日間延べ2万9000人にもなる大きなイベントで、どちらかというともマンション関係の出展は少ないものの、30名近い方が講演を聴いてくださり、また3組の耐震相談に応じることができました。名古屋圏ではまだ耐震診断や改修の実績は少ないですが、これを機に東海支部の活動の場が広がることを期待します。



マンション維持管理機構理事長の西尾弘之氏（左）とJASO東海支部副支部長の安藤誠氏



\*1 マンション維持管理機構

1984年に管理組合の声から生まれた建物維持管理のサポート組織で建築家を中心としたコンサルタント集団。

## JASOアドバイザーのための耐震補強工法セミナー

2012年3月8日 会場：(財)経済調査会会議室

3月8日、(財)経済調査会会議室にて、JASOアドバイザーのための耐震補強工法セミナーが開催されました。

JASOでは2009年に2度、ゼネコン等9社の方々を講師にお招きして補強工事例セミナーを実施しており、今回はその第3弾といえます。

今回は、(株)建研、(株)ア・ファクトリー、(株)クラレ、(株)E&CSの4社のご協力を得て、それぞれが得意とする耐震補強工法について説明をいただきました。今回も多くの方のJASOアドバイザーが聴講し、有意義なセミナーとなりました。



～講演内容～

◆(株)建研

PCアウトフレーム耐震補強工法

◆(株)ア・ファクトリー (施工)

東京電機大学 今川憲英 (開発)  
ガラスと鋼の透過型耐震システム (ISGW)

◆(株)クラレ

湿式吹付耐震壁補強工法 (AP工法)

◆(株)E&CS

トグル制震工法



# 「JASO推奨品指定」がスタート

## 第1号は「2DOOR デレマース」

技術情報委員会 委員長 安達和男

### 1. 推奨品指定制度の目的

これまでJASOには「JASO製品評定」がありました。今回これに加えて、「JASO推奨品指定」制度を設けました。目的は、耐震性にかかわる製品や施工法などに関して、高性能や効果のあるもの、デザインや使い勝手の良いものをJASOが推奨することでその普及をたすけ、建物や地域の耐震性や安全性の向上をはかるものです。さらに、所管を技術情報委員会にすることで、JASO製品評定よりは迅速かつタイムリーに製品を推奨しようとしています。

### 2. 推奨品指定のフロー

- ①申請者(メーカー、施工会社)が製品、施工法などの推奨申請をJASO技術情報委員会に行う。
- ②申請者は、その性能や効果を実証する試験、測定などの結果を申請時に提出する。
- ③技術情報委員会は申請を受け、申請内容に応じた適切な担当チームを設け、申請内容をヒアリング、実査等で審査する。
- ④担当チームは審査経過および結果を技術情報委員会に報告し、推奨の可否の判断を受ける。
- ⑤技術情報委員会は、推奨する製品および施工法を理事会に報告する。
- ⑥技術情報委員会は、申請者に申請結果を通知する。
- ⑦技術情報委員会は、推奨品をJASOホームページ、出版物、シンポジウム等で会員内外に報告する。
- ⑧申請者は、製品および施工法に等にJASO推奨品である旨、記載できる。

### 3. 第一号指定は「2DOORデレマース」

(株)アイ・エスの「2DOORデレマース」は扉内に小扉をもち、層間変位角 $1/60\text{rad}$ までの変形を受けても避難を可能とする扉製品です。

2011年12月1日に指定審査申込みを受け、12月18日にヒアリング、2012年2月27日に東海ドア新富士工場で変形開閉試験に立会いを行い、3月14日の委員会での審査の結果、指定となり、3月16日の理事会に報告されました。



#### (推奨品の指定理由)

地震時に避難経路上で玄関等の扉の開閉は、確実に確保されなければならない。本製品は、対震丁番を用いることなく、BL規準である層間変位角 $1/120\text{rad}$ を超え、 $1/60\text{rad}$ まで小扉が開閉でき、避難を可能とする。また、避難後に小扉を施錠することで、家財等の保全を可能とする。既設の扉枠にも取り付けことができ、耐震改修にも有効である。

扉内に小扉を設け、避難を可能とする本製品の機構はマンション建物ほかで、有効な対震上の製品であることから、JASO推奨品として指定する。

### 4. 第1号に続く推奨品を募集

以上が第1号の指定までの経過です。これに続く、推奨品指定希望の製品や工法を賛助会員の方から募集します。また、会員各位にも御自分で採用してよかった製品や工法を推薦いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

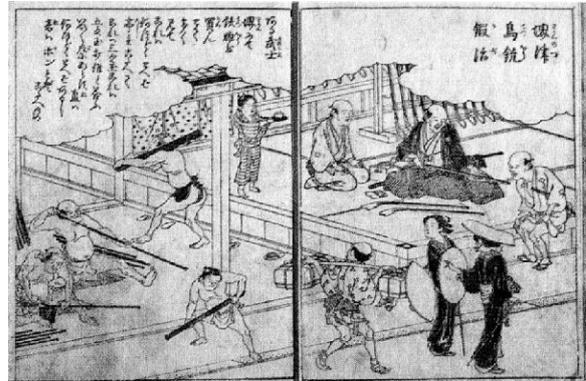
### 第11回 矢野建築コンサルタンツ代表 矢野 克巳 氏

アフリカ西部ギニア湾に面したガーナの首都アクラで野口英世が黄熱病に倒れた1928年5月に、矢野克巳は大阪府堺市に生まれる。父親は「ひびろ糸」という紡績工場用の紐を撚る機械をドイツから輸入して紡績会社をおこしていたが、終戦直前に軍需供出で機械を取り上げられてしまう。矢野は工学部の機械科にあこがれていたが、当時の難易度は、化学、機械、電気、建築の順で、阪大の建築学科に進むことになる。入学してまもなくデザイン能力テストがあり、構造に行けといわれたことがこの道の始まりである。

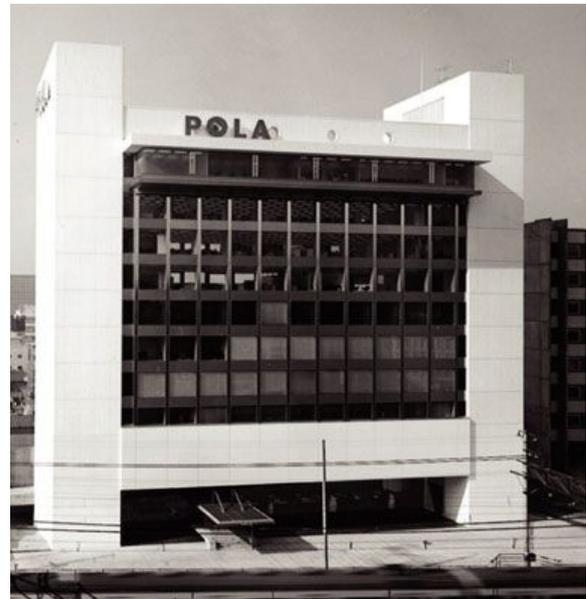
1950年に日建設計に入ってから日本を代表する建築の構造設計をおこない、1971年にはポーラ五反田ビルで日本建築学会賞作品賞を受賞している。グループ会社を退職した1995年に、自社が設計した神戸の工場が阪神淡路大震災を受けて、建築被害は軽微なのに工場が操業できていないことが構造設計者としてショックだった。

JARAC（建築耐震設計者連合：JASOの前身）を立ち上げるために、JIA（日本建築家協会）、JSCA（日本建築構造技術者協会）、JABMEE（建築設備技術者協会）のみならずゼネコン各社もまわって総合的な耐震性についての賛同者を募った。

学会は「ものを守る」基準であるのに対して、JASOは「ひとを守る」尺度で耐震総合性を考えている。超高層マンションで地震により家具がめちゃくちゃになって住んでいる人が怪我をしたら、それは欠陥建築である。東日本大震災ではJASOのやり方が認められたといえる。耐震の診断は医者診断と同じでなければならない。法律では認められていても健康を維持するために酒やタバコをやめなさいということがとても大事になってくる。患者の症状により助言はまったく変わってくるし、重要度も違っている。JASOは診断から改修のステージに入ってきている。実践できる手法とケーススタディーをみんなで智慧を出し合って集積してもらいたい。（宮城秋治）



堺は安土桃山時代より鉄砲鍛冶が盛んだった  
(和泉名所図絵)



1971年に日本建築学会賞作品賞を受賞した  
ポーラ五反田ビル



気さくにインタビューを受ける矢野克巳氏

このコーナーではJASOの会員事務所を訪問し、最近の動向などについてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

# HS会員様へ訪～問！

## 第11回

株式会社 日東コンクリート技術事務所

このコーナーではJASOの法人会員・賛助会員の会社を訪問し、耐震への取組状況についてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

### 建築材料の客観的な試験により、構造材料の品質を確保する試験機関

昭和50年代、建築材料の品質を検査する専門の会社が誕生しました。当時、コンクリートなどの材料は、供給者である生コン会社が独自の試験を行っていましたが、客観性を担保するという観点から、第三者が試験・検査を行うようになり、今日において首都圏ではそれが当たり前の状況になっています。

今回は民間の建築材料検査機関のパイオニアであり、国際的な業務も視野に入れた品質管理に努めていらっしゃる「株式会社 日東コンクリート技術事務所」さんに、お伺いしました。

日東コンクリートさんは、平成9年にISO9002、平成15年にISO/IEC17025を取得されています。昭和62年に東京都が試験・検査機関のリストアップを開始した当時から、都の試験機関として登録され、建築材料検査により、首都圏の建築の品質管理に貢献されています。現在ではA類（普通コンクリート）、B類（高強度コンクリート）試験とも登録されている数少ない民間の登録機関です。

実施されている試験の項目は、「フレッシュコンクリート試験」「硬化コンクリート試験」「鉄筋鋼材試験」「その他特殊試験（骨材試験、超音波探傷試験、タイル貼付試験、非破壊鉄筋探査、珪骨試験 他）」など、多岐にわたり、伺った試験場は活気に溢れていました。

日中は工事現場に試験・検査員が出向いて検査を行っており、夕方になり社員が帰社するとさらに活気を帯びた試験場になるとの事でした。

現在でも新築時のコンクリート等材料試験が業務の多くを占めているそうですが、都の登録機関という立場から、平成19年～21年にかけて賃貸の都営住宅及び東京都住宅供給公社住宅などの耐震診断時のコア抜き調査・試験などを数多く行ってきた実績があり、都営住宅の自治会などとの事前打ち合せや、調査時に掲示するチラシなどについて、苦労されてきたお話を伺いました。

また、耐震診断における現地調査について、調査道具の使い方や調査可能範囲、結果の信頼性などについて、様々なお話を伺い、情報交換を行いました。

昨年の東京都特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化が義務化されたことにより、今年度から耐震診断に伴う材料試験などが増加すると推測されます。今後のご活躍が期待されます。（江守 芙実）



試験機で、コンクリート供試体の圧縮強度試験実施中



シュミットハンマーの精度について聞くインタビュー



インタビューと試験場の案内をして下さった顧問の茂木氏(左)と技術部長の渡部氏(右)

取材協力：株式会社日東コンクリート技術事務所  
<http://www.nittou-con.co.jp/>  
 本社・試験所 048-952-5401

.....お知らせ.....

## 2012年度 JASO定期総会・講演会のお知らせ

2012年度定期総会・記念講演会

日程：2012年6月8日(金)

会場：(財)日中友好会館 ホール  
東京都文京区後楽1-5-3

時間：13:00～14:30 定期総会

15:00～17:00 記念講演会

17:30～19:30 懇親会

懇親会会場：日中友好会館1階、中国茶芸苑「馥(ふく)」



今年の記念講演は前(独)建築研究所理事の伊藤弘氏と元日経アーキテクチャ編集長の細野透氏をお迎えし、「非構造部材と地震被害(仮題)」についてご講演いただく予定です。

## 2012年度 H・S会定期総会のお知らせ

下記日程にて、2012年度のHS会総会が行われます。HS会会員の皆様、ご出席下さい。

日時：2012年5月24日(木) 15時～17:00

会場：JASO会議室(東京都文京区音羽1-20-16 PAL音羽ビル7階)

### 2012年 JASO AD行事スケジュール

4月	4/10 (火)	アドバイザー会議
	4/24 (火)	アドバイザー会議
	4/26 (木)	マンション耐震補強工事現場見学会
5月	5/8 (火)	アドバイザー会議
	5/12 (土)	杉並区マンション耐震セミナー
	5/16 (水)	H・S会技術発表会 第1回(JASO会議室)
	5/22 (火)	アドバイザー会議
6月	5/24 (木)	H・S会定期総会(JASO会議室)
	6/8 (火)	JASO定期総会(日中友好会館)
	6/12 (火)	アドバイザー会議
	6/26 (火)	アドバイザー会議

### JASO-HS会からのお知らせ(広告)



### 事業案内

大規模修繕から設備改修・内装リフォームまで  
プロセスを大切に仕事を進めます。

#### リニューアル工事の施工(マンション、商業ビル、学校、病院 他など)

リニューアル工事の熟練工と、豊富な管理経験をもつ監督員が、協力的なタッグを組み、安全管理、品質管理はもちろんのこと、お住まいの皆様の日々の生活に対し「より負担の少ない工事運営を心がけ、『お客様満足度100%のために』を最優先とした仕事をいたします。

#### アフターメンテナンスによる維持、保全

快適な住空間(美観、機能)を維持するため、定期的かつ自主的なアフターメンテナンス点検を実施しております。方が一工事上の不具合が発見された場合は迅速な対応を是正を履行し、また、経年による劣化の場合もその状況を調査～報告し、よりよい対処案をご提案させていただきます。

Takasaki 建物改修の専門会社

匠 極  
被を極めた匠たちが  
江戸の歴史、情懷から新たな出発  
Kiwami

#### ◆お問合せ先

株式会社リニューアルウィングス  
〒130-0026  
東京都墨田区両国1-3-8 西川ビル3階  
TEL03(5638)0610 FAX03(5638)0612